



カテリーナ古楽合奏団 中世・ルネサンス音楽会

2018年 5月 17日(木) 19:00

ルーテル市ヶ谷ホール

新宿区市谷砂土原町 1-1 03-3260-8621

料金：4,000円(当日 4,500円)

お問い合わせ・お申し込み ロバハウス

042-536-7266 www.roba-house.com/live.html

「カテリーナ古楽合奏団」が手にする諸楽器は死に絶えた古楽器ではない。伝統楽器として、洋の東西に生きつづけ、展開しつづけている人間味あふれた楽器なのである。したがってその音色は、特定の地域としてのヨーロッパのものでもなく、日本のものでもない。近代化の過程で歪められた音の氾濫する現代社会にあって、本来の人間性豊かな音を甦らせてくれる音、日本はもちろん世界中が、いま必要としている音楽だといえよう。彼らが演奏する楽曲はその名に反して「古楽」ではない。楽器と同様、古楽のあり方に素材を求めたの現代の音作りである。彼らの目指す素朴で人間味あふれる、そして今一番新しい音楽である。

1993 故江波戸昭◎「ドックチア」より

右の文章は、◎「ドックチア」のライナーノーツの為に民族音楽学者・故江波戸昭氏より寄せられた。「音の氾濫する現代社会にあって本来の人間性豊かな音を甦らせてくれる音・・・」このフレーズはあの当時、何よりも嬉しい一行だった。もう一度このくだりに耳をすませよう。

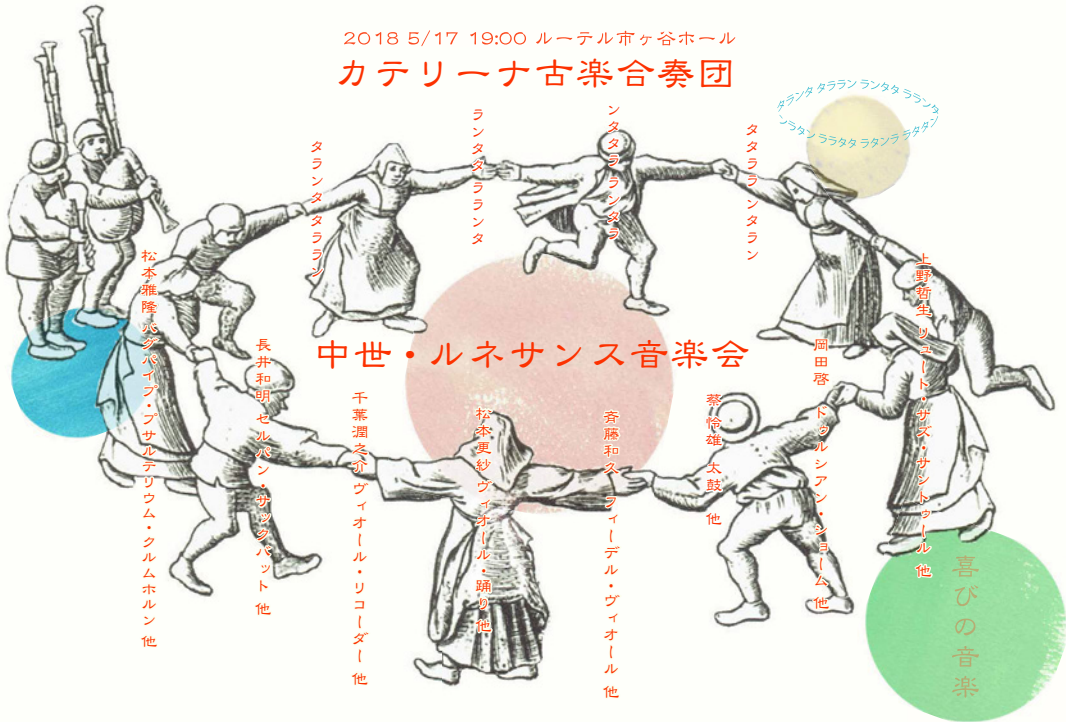
「素朴で豊かな喜びの音楽をこの時代に」結成時より、身体の深層のどこからか湧き上がってくる、古楽に向かうことの楽しくてたまらない不思議で愉快な衝動を今じっと感じながら、カテリーナ古楽合奏団らしく奔放に、古楽らしく中世・ルネサンス時代の喜びの音楽を表現しようと思っている。

是非ご来場お待ちしております。

2018 カテリーナ古楽合奏団 松本雅隆

2018 5/17 19:00 ルーテル市ヶ谷ホール

カテリーナ古楽合奏団



タララ タララ タララ タララ
タララ タララ タララ タララ
タララ タララ タララ タララ

タタララ
ンタラ
ンタラ

ンタラ
ンタラ
ンタラ

ランタ
ランタ
ランタ

タラン
タラン
タラン

中世・ルネサンス音楽会

上野新生 リュード・サズ・サントゥール 他

岡田啓 トゥルシアン・シヨーム 他

蔡怜雄 太鼓 他

香藤和久 フィーデル・ヴィオール 他

松本更紗 ヴィオール・踊り 他

千葉潤之介 ヴィオール・リコーダー 他

長井和明 セルバン・サツクバット 他

松本雅隆 バグパイプ・フサルテリウム・クルムホルン 他

喜びの音楽